

令和7年度 法教育出前授業

- 日 時 令和7年11月17日(月) 2, 3限
※2限: 2年1組、4組、6組
3限: 2年2組、3組、5組、7組
- 対 象 2年生全員(「公共」履修中のため)
- 講義内容 『ジェンダーと平等』

▼授業の様子



【本日の授業内容】(生徒の要約)

- ・日本は世界の中で見ても政治に女性が参加できていない。
- ・何が平等かは、様々な立場があって容易に決められない。
- ・正解・不正解はなくても、自分はこうしたいという意見は持つべき。

【本日の感想】(抜粋)

- ・逆差別になるかも、現状が今のままでは変わらないかもなど、多くの視点から考えることが大切だと学んだ。
- ・ジェンダー問題が長年続く理由が分かった。今のままではだめだと思うから、来年選挙へ行こうと思う。

【文系】国会議員の女性枠の導入の是非

【理系・理数科】理学部・工学部の女子枠導入の是非

【本日の感想】(抜粋)

- ・世の中は学校のテストとは違い、答えが一つではないことがある。だからこそ、多くの人と交流することが大切だと感じた。
- ・目的と手段が正しいのか議論することが大切である。

【本日の授業内容】(生徒の要約)

- ・男女どちらの立場にとっても公正な受験方法をつくることは難しい。
- ・理系の女子学生の割合を増やすべきだと思うが、どれくらい増やすとみんなが納得できるのか。
- ・自分だけでなく、他の人の意見も聞き、自分の世界を広げていくことが大切。



▲授業の様子

4限の懇談会で弁護士さんから見て、今の高校生が**高校生のうちに身に付けてほしいこと**は何か聞きました。

(4名の弁護士からの回答)

- ・大人数でのコミュニケーション能力
- ・入試に関係ない分野の好奇心
- ・想像力(一人で一つのことをひたすら自問自答する力)
- ・情報を吸収する力

懇談会ではその理由ももちろん語られました。この回答は様々な立場から弁護する職業だからこそ答えられるものであり、とても考えさせられるものでありました。

今回の授業は入試に直接関係するものではないかもしれませんが、ですが、民主主義を様々な視点から学ぶことができたのではないのでしょうか。地域のリーダーを目指す本校の生徒は、他者と合意形成をする難しさを是非身に染みて感じ、考え、今後の行動に移していただきたいと思います。